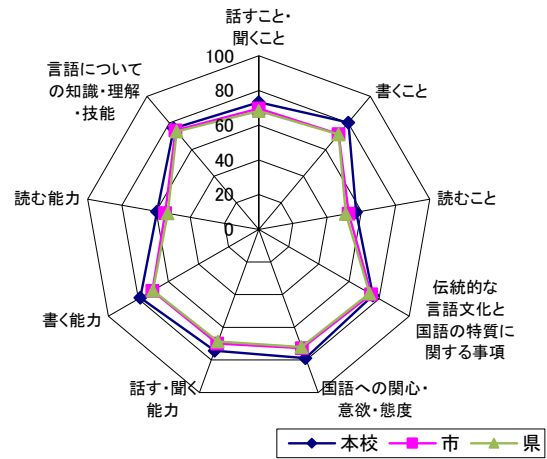


宇都宮市立星が丘中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	73.2	69.6	68.2
	書くこと	80.4	71.7	71.5
	読むこと	56.9	52.6	51.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.9	74.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度	78.9	72.8	72.1
	話す・聞く能力	74.3	69.9	68.7
	書く能力	78.7	70.7	70.3
	読む能力	59.4	54.7	53.1
	言語についての知識・理解・技能	76.0	74.5	73.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○全体的に正答率が県の正答率より5%以上上回っている。 ●「聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取る」問題に対しては県の正答率よりは高いが、正答率が54.2%と低い数値であった。	・話の道筋を立てて、一貫した話し方を考えて発表をする場面を設けたり、全員が分かる言葉を選んだりするなど、語彙力を増やす。 ・話の速さ、声の大きさなどに留意した発表を心がけさせる。
書くこと	○全ての設問において、本校の正答率が70%以上であり、県の正答率より5%以上上回っている。 ●文章の構成に対しての理解に課題がある。	・段落数を指定した文章を書く活動を行っていく。書くことに抵抗がない生徒は多いが、一方で何を書けばいいのかが分からない生徒も存在するので、適切な題材を提供し、自分の考えをまとめやすいように、ワークシートを利用していけるようにする。
読むこと	○文学作品の設問では、場面の展開、登場人物の心情などの設問で、県の正答率を上回っている。 ●説明文に対する構成の理解や、展開を捉える力に課題があり、正答率が30.7%と県の正答率を下回っている。	・説明的文章において、指示語や接続語等に着目し、論旨を正確に読み取る力を育てていきたい。 ・朝の読書活動や本の紹介を通して文学的文章に多く触れる機会をつくることで、読むことに対する関心・意欲を高め、課題に意欲的に取り組む姿勢を育みたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○文節の関係についての設問では、県の正答率を大きく上回っている。 ●漢字を書く設問では正答率が15%という設問もあり、全体的に小学校で学習済みの漢字を書く力が低い。	・漢字については、定期的に小テストを行い、間違えた漢字は練習させる指導を継続していく。また、中学校の新出漢字だけでなく、小学校で習う漢字も復習させる活動を取り入れていく。